

第三十七回

白謡会・研究会番組

平成二十九年八月十九日(土)午前九時四〇分始
於・横浜能楽堂研修舞台(045・263・3050)

素 謡

ツレ 橋本 鏡子

高 砂

シテ 近藤たね子

ワキ 菅原 秀子

地頭・関口 潔、副地頭・森 庸一、長谷川次八

ツレ 尾崎 純子

雨 月

シテ 天野 忠雄

ワキ 山口 健次

地頭・三武 孝、副地頭・青山圭佑、一坂洋三

仕 舞

白楽天

小島 洋子

井 筒

堤 美代子

野 宮

齊藤千賀子

玉 鬘

関口 潔

阿 漕

糸井多倍子

地謡・平戸仁英、青山圭佑、橋本鏡子、松嶋總子、内田節子

連 吟

三 輪

シテ 石井 静江 ワキ 関口 節子

地謡・尾崎純子、石井佑卯子、小島洋子、鈴木幸子、竹川綾子

素 謡

弱法師

シテ 手島 芳子

ワキ 一坂 洋三

地頭・河野 健三、副地頭・関口 潔、姥沢 賢

定家

シテ 三野 仁子

ワキ 舎川 重隆

地頭・平戸仁英、副地頭・鈴木邦子、森川洋子

連吟

小督

シテ 佐川 武子 ツレ 森川 洋子

地謡・加藤千恵子、斉藤千賀子、糸井多倍子、堤美代子、鈴木紀子

素謡

實盛

シテ 鈴木 邦子 ワキ 神崎 克子

ワキツレ 内田 節子

地頭・深田晴美、副地頭・松嶋總子、龍田啓子

蟬丸

ツレ 小原九州男

シテ 鈴木 紀子 ワキ 石井佑卯子

地頭・青山圭佑、副地頭・山口健次、姥澤賢

仕舞

東 北キリ 松嶋 總子

杜 若キリ 尾崎 純子

松 風 内田 節子

善知鳥 龍田 啓子

地謡・平戸仁英、関口 潔、小林宏三、小島洋子、姥澤賢

連吟

蘆刈

シテ 西澤 滋幸 ツレ 山森 和夫 ワキ 小林 宏三

地謡・山口健次、一坂洋一、森 庸一、長谷川次八、小原九州男、三村 勉

素 謡

天 鼓

シテ 中山 眞秀 ワキ 三武 孝

地頭・舎川重隆、副地頭・河野謙三、越後貫隆

(終演午後四時半頃)

注①

連吟の範囲Ⅱ

「三輪」は、五丁表のワキよりクセ留・語るにつけて恥ずかしや」まで。

「小督」は、後場ツレの「げにや一樹の・・・」より、五丁裏の「・・・想夫恋なるぞ嬉しき」まで。
なお、謡本のツレ、トモの連吟はツレの独吟とする。

「蘆刈」は、十四丁表のシテ「蘆火焚く屋は・・・」よりクセ留「・・・嬉しかりけれ」まで。

注②

昼食は各自で弁当などをご用意下さい。また、飲み物としてペットボトルなどをご持参下さい。

注③

会費は白謡会既定の役料に懇親会費等を基本会費として加算させて頂きます。各自で当日に

注④

会計幹事(小林様、越後隆様)にお支払い下さい。

注⑤

練声会を兼ねておりますので、地謡は極力省略なしとし、運び目をお願いします。

但し進行状況に応じて、地謡の一部を省略することもあります。(その都度地頭と相談して決めます)

注⑥

終了後、「一の蔵」で、簡単な懇親会を催します。

(07・10版)